



平成19年11月12日

各位

会社名 トーヨーカネツ 株式会社
 代表者名 取締役社長 清田 重昭
 (コード番号 6369 東証第一部)
 問合せ先 上席執行役員経理部長 藤吉 昭二
 (TEL 03-5857-3333)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月17日の決算発表時に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期 個別中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益(円)
前回発表予想(A) (平成19年5月17日発表)	12,300	1,050	1,320	1,310	9.47
今回修正予想(B)	13,700	1,570	1,880	1,920	13.88
増減額(B - A)	1,400	520	560	610	4.41
増減率(%)	11.4	49.5	42.4	46.6	46.6
前期(平成19年3月期中間)実績	11,791	980	1,239	789	5.70

2. 平成20年3月期 連結中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益(円)
前回発表予想(A) (平成19年5月17日発表)	23,400	1,370	1,570	1,490	10.78
今回修正予想(B)	24,700	1,690	1,990	2,000	14.47
増減額(B - A)	1,300	320	420	510	3.69
増減率(%)	5.6	23.4	26.8	34.2	34.2
前期(平成19年3月期中間)実績	22,136	1,096	1,327	1,512	10.94

3. 平成20年3月期 個別通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成19年5月17日発表)	25,800	1,700	2,020	2,000	14.45
今回修正予想(B)	27,840	2,780	3,190	3,210	23.20
増減額(B - A)	2,040	1,080	1,170	1,210	8.75
増減率(%)	7.9	63.5	57.9	60.5	60.6
前期(平成19年3月期)実績	22,922	1,773	2,072	1,746	12.62

4. 平成20年3月期 連結通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成19年5月17日発表)	49,400	2,450	2,870	2,700	19.54
今回修正予想(B)	49,400	3,150	3,670	3,670	26.56
増減額(B - A)	0	700	800	970	7.02
増減率(%)	0.0	28.6	27.9	35.9	35.9
前期(平成19年3月期)実績	45,547	1,886	2,457	2,836	20.52

5. 中間業績予想数値の修正の理由

個別中間業績予想数値の修正について

売上高につきましては、主に機械・プラント事業における国内補修案件の増加により、前回の予想を上回る見込みです。また営業利益および経常利益につきましても、海外案件の採算性が向上したこと等により、前回の予想を上回る見込みです。なお、特別損失におきまして子会社向け貸付金に対する貸倒引当金繰入168百万円等が見込まれるものの、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を163百万円計上すること等により、中間純利益につきましても前回の予想を上回る見込みです。

連結中間業績予想数値の修正について

売上高につきましては、個別中間業績予想数値の修正と同様の理由により、前回の予想を上回る見込みです。また営業利益及び経常利益につきましては、物流システム事業の売上未達に伴う利益の伸び悩み等の影響が見込まれますが、機械・プラント事業が好調であり、かつ持分法投資利益の増額が見込まれるため、前回の予想を上回る見込みです。なお、中間純利益につきましては、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を161百万円計上すること等により、前回の予想を上回る見込みです。

6. 通期業績予想数値の修正の理由

個別通期業績予想数値の修正について

個別中間業績予想数値の修正に伴い修正いたします。

連結通期業績予想数値の修正について

物流システム事業は引き続き厳しい環境下であり、業績の本格的な回復は来期以降にずれ込む見通しであることから、売上未達に伴う利益の伸び悩みの影響等が見込まれますが、機械・プラント事業は売上面、収益面とも引き続き順調に推移することが見込まれるため、売上高は前回の予想と同額を見込み、また営業利益、経常利益、当期純利益につきましては前回の予想を上回る見込みです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により当該予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上